

平成27年度研究紀要発刊に寄せて

山梨県総合教育センター
所長 星野 真理

今日の教育界は、急激な時代の変化とともに知識基盤社会の到来をむかえて、多くの喫緊の課題に直面し、沢山の対応と改革が求められています。これから子ども達が生きていく世界にあっては、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく新しい知や価値を協働して創造する能力が求められ、変化に対応する「生きる力」を身につける場所としての学校の役割はますます重要になり、教育課題は高度化・複雑化しています。そして、その学校は多忙化という現状の中で世代交代をむかえ、日々奮闘している教職員の姿がありますが、この中で教職員は常に学ぶ者としてあらねばなりません。

教職員一人一人の力量や学校全体の組織力を向上させ、これらの諸問題を解決する力を養う支援をするために、山梨県総合教育センターでは「学校教育を支援する確かな情報発信源」を基本方針に掲げて、教職員の研修会の充実を図るとともに、教育に関する研究開発、児童生徒・保護者や教職員への相談支援、ICTの活用支援等様々な業務に取り組んでいます。

さて、平成27年度の研究につきましては、「確かな学力の育成」をテーマに「学力向上に資する教科及び領域の研究」を小中高29の研究協力校と59名の研究協力員とともに、主事の「一人1研究」として行って参りました。各自の設定主題に沿って、授業モデルの開発、活用しやすい教材の作成、検証授業の実施とその授業公開を中心に据え、授業研究を県内の多くの先生方に関わっていただけるように工夫しながら、今日的課題や学校現場のニーズに沿った具体的な成果を提供することを目的に研究を進めて参りました。教科の研究におけるキーワードは、単元を貫く言語活動、思考力・判断力・表現力、ICTの活用であり、アクティブ・ラーニング、ルーブリックも見られます。また教育相談・特別支援の領域では、いじめ、不登校、発達障害、特別支援教育、連携について、教育実践課題のわかりやすい事例分析に努めました。

今年度の研究の締めくくりにあたり、ここに所員の研究成果を「研究紀要」として公刊することとなり28編の論考を収録いたしました。本編の他に資料編としまして授業プラン、教材、ワークシート等は本センターのホームページからダウンロードできますので是非御活用ください。これらの内容が日々の教育実践の参考になりますよう願うとともに、御高覧の上、今後も学校のニーズを反映した研究を進めるために御助言をいただければ幸いです。

結びに、調査・研究に御協力いただきました皆様、専門的立場から御指導をいただきました山梨大学のアドバイザーをはじめとする関係機関の皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。